

第35回地域密着型サービス運営委員会の議事概要

1. 開催日時 平成29年6月21日(水) 10:30～11:50
2. 開催場所 危機管理センター 1階 本部員会議室
3. 議題 神戸市地域密着型サービス事業所の整備及び指定について【審議】

4. 議事及び主な意見

神戸市地域密着型サービス事業所の整備及び指定について【審議】

○地域密着型サービス事業者の整備・指定状況について、平成29年7月1日指定予定の18事業所の概要等を説明。

<チェックリストについて>

質問) 事業所によってチェックリストの○の多い少ないがあるが、○がないと指定されないのか。

回答) 厚生労働省令にある基準は満たしているので、指定はすることになる。

意見) 虐待防止研修の欄は、実施が1回のところも回数を表記したほうがわかりやすい。

回答) そのようにする。

<認知症対応型共同生活介護について>

意見) 職員配置についての朝夕の複数配置については、食事の時間帯や調理方法によって、入居者ケアに対応できるかどうかが変わってくるので、そこを確認し、対応するよう伝えていただきたい。

回答) 事業者にフィードバックする。

意見) 介護職員の資格について、認知症の方のケアでは、通常の介護とは違った知識・技術が必要なので、せめて「認知症サポーター研修」くらいは受講してほしい。

市補足) 「認知症介護実践者研修」は約40時間で負担が重いが、28年度から新設された「認知症介護基礎研修」は短時間(eラーニング活用で3時間)なので受講を勧めたい。

<地域密着型通所介護について>

質問) 今回は法人変更が多いとのことであるが、最初の審査は厳しくしていても、変更のときには緩くなるのではないか。

回答) 法人変更で従業者等も引継いでこれまでどおり運営される事業所についても、手続き上は新規申請となるので、書類は新規申請用の一式を全て提出いただき、審査する。ただし、今回、現地確認までは行っていなかったので、今後は行いたい(平成29年7月に実施する)。

質問) 法人が変わる理由は何か。

回答) 従前の法人の経営難や事業縮小が主な理由である。関連の事業者や経営者の知人、従業員が新たな法人を立ち上げて等で引継ぎされると聞いている。

意見) 法人が変わってもこれまでの運営を引継ぐのであれば、経営困難な状況は変わらないのではないかと心配である。利用者が今後も継続して利用できるのか心配である。こういったところは市で注視して行ってほしい。

質問) 経営が困難ということには介護報酬の引下げが原因しているのではないかと心配である。事業所も減ってきているのか。

回答) 報酬引下げは関係深いと思われる。通所介護の事業所数はこれまで伸びていたが、昨年・一昨年からは伸びが鈍化した。

意見) 介護報酬が引き下げられると、事業者としては同じようには運営できないので、やはり、従業者や運営（食事内容など）のどこかに変化が現れる。利用者を守るためには変化をチェックしなければならない。

意見) 制度変更の影響は、国にも現場の状況を伝えて行ってほしい。

質問) 「神戸市立」というデイサービス事業所があるが、神戸市が運営しているのか。

回答) 市の施設であるが直営ではなく、指定管理者制度で民間事業者が運営している。